

地域連携センターだより

発行/和泉市立総合医療センター 地域連携センター（毎月1回発行）
電話/直通 0725-41-3150 代表 0725-41-1331
FAX/直通 0725-41-2513



脳神経外科からのご案内

日頃より当院脳神経外科にご紹介・ご連携を賜り、厚く御礼申し上げます。

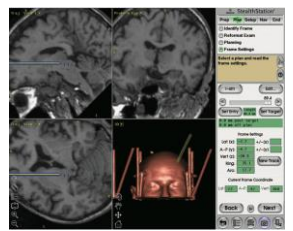
当科では、てんかん診療やパーキンソン病などの機能的脳神経外科治療の充実に力を注いでおります。てんかん発作の種類や責任部位を正確に把握するため、長時間にわたり脳波と映像を同時記録する持続脳波モニタリング検査(画像1)を2024年より導入し、発作時の臨床症状と脳波変化を統合し、より精緻な評価を行っております。外来での問診や単回の脳波検査のみでは判断が難しい発作症状につきましても、入院のうえ数日間にわたり記録することで、てんかん発作か否かの鑑別を含めた診断精度の向上が期待できます。これにより、持続脳波検査を行うことで、薬物療法の見直しや外科治療を含めた最適な治療方針の決定に役立てております。



画像1: 持続脳波モニタリング検査

また、当科は日本てんかん学会が定めるてんかん専門医認定研修施設として認定を受けております。専門医育成の基盤を備えた診療体制のもと、小児から高齢の患者様まで幅広い年代のてんかんに対し、専門性の高い診療を継続的に提供できる体制を整えております。地域の先生方においては、診断や治療方針にお悩みの症例につきましても、遠慮なくご相談いただけましたら幸いです。

パーキンソン病治療に対して、新たな治療を開始しました。薬物治療のみでの症状のコントロールが難しくなった症例に対し、当院では脳神経内科においてレボドパ・カルビドパ配合経腸溶液療法(デュオドーパ治療)、ホスレボドパ・ホスカルビドパ水和物持続皮下注療法(ヴィアレブ)を導入していましたが、さらに2025年より脳深部刺激療法(DBS)を開始(画像2)しました。脳内の特定部位に電極を留置し持続的に電気刺激を行うことで、振戦や無動、動作緩慢などの運動症状の改善が期待でき、薬剤の減量にもつながることから、患者様の生活の質の向上を目指した新たな治療選択肢として提供しております。適応の可否や治療の流れにつきましても、遠慮なくご相談いただければ幸いです。



画像2: 深部電極留置(Medtronic社提供)

てんかん、パーキンソン病などの機能的脳疾患に限らず、脳卒中などの脳神経外科領域の疾患も幅広く診療しておりますのでお困りの患者様がいらっしゃいましたら、どうぞお気軽にご紹介ください。今後とも地域の先生方との連携を大切にしながら、質の高い医療の提供に努めてまいります。

脳神経外科 部長
宮内 正晴



外来診察予定表

受付時間：午前 8:00～午前 11:30
☆は女性です。

	月	火	水	木	金	土
午前	宮内	松本(博) (9時～11時)	藤本(晃)	☆濱田(有)	渡邊	
午後	宮内 (てんかん初診・予約制)		藤本(晃) (14時～16時)	中島 ☆濱田(有)	渡邊 (13時30分～16時)	



超音波検査 予約のご案内

当院では日本超音波学会 認定超音波検査士(消化器領域、循環器領域、血管領域、体表領域)の資格をもつ臨床検査技師が検査を施行し、医師による確認をおこなっています。地域の先生方の診療の一助となるよう検査技師、医師ともに努めてまいります。

■ 各種エコー検査:月曜～金曜日/午前・午後ともに実施

検査名	担当科	検査実施曜日・時間帯				
		月	火	水	木	金
腹部エコー	肝胆膵内科	○	○	○	○	○
甲状腺エコー	外科	○	○	○	○	○
血管エコー (頸動脈、下肢静脈)	外科	○	○	○	○	○
心臓エコー	循環器内科	○	○	○	○	○

診察・検査予約依頼書の超音波検査に☑し、その他必要箇所記入後、地域連携センターにFAXください。

9月の休診・代診について

休診・代診については、ホームページ(休診案内)をご確認いただくか、地域連携センターまでお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。



和泉市立総合医療センター 地域連携センター

月～金曜日 9:00～19:00まで

土曜日 9:00～13:00まで

(但し祝日・年末年始の休日は除く)

TEL: 0725-41-3150 (直通)

FAX: 0725-41-2513 (直通)